

ヘルスプロモーション論

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》○明野 聖子 (看護福祉学部) naga-s@hoku-iryu-u.ac.jp 佐藤美由紀 (看護福祉学部)
表山 知里 (看護福祉学部)

【概要】

人々の健康を支えるためのヘルスプロモーションの基本的な考え方を理解し、看護職の果たす役割について学ぶ。個人・家族・集団・組織を含む地域社会および地域で暮らす人々が自発的に健康的な生活を送ることができるような方法と看護職による支援を学ぶ。

【学修目標】

- 1.ヘルスプロモーションにおける「資源としての健康」という考え方にに基づき、健康を守る意義と方法を述べられる。
- 2.健康行動モデルを自分の生活に関連づけて理解し、健康を保持増進する支援のポイントを理解できる。
- 3.健康づくりの要素である栄養・食生活、身体活動・運動、睡眠に関する指針やガイド(厚生労働省)と知識に基づいて、対象者の健康的な生活習慣についてアセスメントし、支援のポイントを説明することができる。
- 4.個人・家族・集団・組織を含む地域社会におけるヘルスプロモーションの取り組みと看護職の役割を理解する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3.データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5.複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

明野聖子(保健師)、佐藤美由紀(保健師、介護支援専門員)、表山知里(保健師)

【実務経験を活かした教育内容】

行政機関での実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。